

研究会「これからの理系高大接続を考える！」



東京理科大学教育支援機構理数教育研究センターでは、高校～大学レベルの内容を小学生に理解させる技術を大学院生に養わせるなど、実力ある理数教員の養成をめざした研究教育活動を行っています。

このたび本センターでは、日本の理数力強化に資するべく、中学・高等学校の現職理科教員や理科の教員養成を担当される方々を主な対象とする研究会を企画しました。

理系における高大接続が大きな課題となっている先般にあって、大学入試センター試験をはじめ、様々な高大接続の在り方が検討されております。

これらの事項に関して、実際に事業を実施する文部科学省の担当官及び高大接続研究の専門家を招いて研究会を行います。

理数教育のあるべき姿を真剣に考えてこられた3名の話をつき、参加者の方とともに活発な意見交換を行う予定ですので、奮ってご参加ください。

日 時：平成 28 年 12 月 11 日（日） 13：00～17：00（受付 12：30～）

場 所：東京理科大学 神楽坂校舎 2号館1階212教室 **1号館17階記念講堂**

対 象：中学・高等学校の現職教員、教員志望の本学学生（大学院・学部）、

理科の教員養成関係者、本学教職員、一般の参加者

主 催：東京理科大学 教育支援機構 理数教育研究センター 理科教育研究部門

参加費：無料

申込方法：理数教育研究センターHP (<https://oae.tus.ac.jp/mse/>)よりお申込み下さい。

アクセス：

■JR 総武線、地下鉄有楽町線、東西線、

南北線飯田橋駅下車 徒歩 3 分

■大江戸線飯田橋駅下車 徒歩 10 分



■■■■ プログラム ■■■■

13 : 00～13 : 05 開会挨拶

第 1 部 13 : 05～15 : 05 講演

基調講演 13 : 05～13 : 25

「Excellent Teachers Inspire」

秋山 仁（東京理科大学 理数教育研究センター長）

講演 1 13 : 30～14 : 15

「新テスト導入に向けたロードマップー準備の状況についてー」

福澤 光祐氏（文部科学省 高等教育局 高等教育企画課 高大接続改革 P T 専門官）

講演 2 14 : 20～15 : 05

「新しい入試を授業改善につなげるには？」

川村康文（東京理科大学 理学部第一部物理学科 教授）

講演者が変更になりました

----- コーヒーブレイクと語りあう会 15 : 05～15 : 30 -----

第 2 部 15:30～16 : 55 パネルディスカッション「センター入試にかわる次の新テスト」

パネリスト

福澤 光祐氏（文部科学省 高等教育局 高等教育企画課 高大接続改革 P T 専門官）

川村 康文（東京理科大学 理学部第一部物理学科 教授）

伊藤 稔（東京理科大学 科学教育研究科 科長）

小川 正賢（東京理科大学 科学教育研究科科学教育専攻 教授）

司会

渡辺 正（東京理科大学 理数教育研究センター 教授）

16 : 55～17 : 00 閉会挨拶

【講師紹介】

福澤 光祐氏：文部科学省 高等教育局 高等教育企画課 高大接続改革 P T 専門官

2015年7月より現職。全国学力・学習状況調査の問題作成や調査結果の分析等の業務経験も踏まえ、現在、大学入学希望者学力評価テスト（仮称）の制度設計等の大学入学者選抜改革の業務に関わる。2020年から始まる新テストの準備状況や、そのテストで問われる能力等について考えたい。

川村 康文：東京理科大学 理学部第一部物理学科 教授

博士（エネルギー科学）。専門は物理教育、サイエンス・コミュニケーション。高校物理教師を約20年間務めた後、信州大学教育学部助教授、東京理科大学理学部第一部物理学科助教授、准教授を経て2008年4月より現職。慣性力実験器Ⅱで平成11年度全日本教職員発明展内閣総理大臣賞受賞(1999)、平成20年度文部科学大臣表彰科学技術賞（理解増進部門）をはじめ、科学技術関連の受賞多数。

※講演者、講演題目は変更になる場合があります。